



アカ族

について

アカ族の発祥の地は中国南西部の雲南省である。過去1世紀の間に、90万人以上が南方に移住し、今ではミャンマー東部、タイ北部、ラオス北部、ベトナム北西部、中国の雲南省に広く点在している。

アカ族には主にウロ、ロイミ、パーミー、アケウの4部族があり、それぞれ独自の言語を持つが、全員がアカ語を話すことができる。アカ族のサブグループは互いに異なる民族衣装を持ち、特に女性の独特な髪飾りは有名である。



アカ族の人口：
90万人余
(ハニ族を除く)



アカ族の宗教：
精霊信仰と祖先
崇拝の混合



アカ族の言語：
ローマ字とタイ
語の2種類で表
記されている。



村の権力者はドゾエ
マと呼ばれ、村の取り
まとめ役、おそらくは
村の創設者。宗教的
指導者、霊界の仲介
者、裁定者でもある。



アカ族は今も多くが焼
き畑農業を営む。山地
で米や様々な野菜を
作り生活している。



アカ族のクリスチャ
ン人口は2.8%



アカ族は自分たちの祖先に対して、大きな関心と驚くべき知識をもっている。彼らの多くは60人以上の男性の祖先の名前を暗唱することができる。彼らの家には先祖代々の祭壇があり、新年や新米の収穫後など、重要な時期に食べ物や酒が備えられる。